



介護のしごとと魅力発信等事業

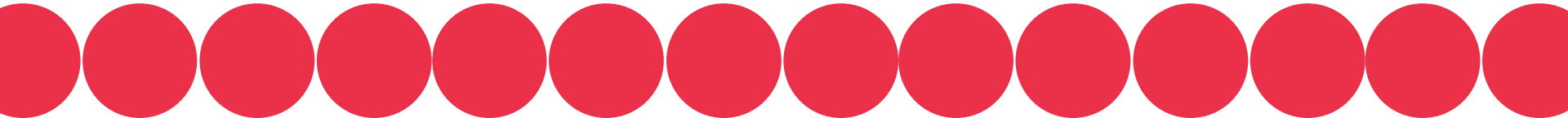
ターゲット別魅力情報発信事業 = 「子育てを終えた層向け」

～ から

C A R A C A R A

産経新聞社・studio-L

20190730



■事業目的

ターゲット層である「子育てを終えた層」に、介護の仕事の現場の声や、やりがいなどの情報をメディアグループとしての機能を活かし積極的に情報発信します。

とくにターゲット層の中でも「介護への無関心層」に対し、介護業界の情報発信を強化しますが、情報発信のメインとなるのが新設する介護サイトでの情報発信です。介護サイトに加え、SNSの活用や女性向けWebメディア、女性雑誌、女性向けフリーペーパー新聞、テレビなど多メディア連動にて積極的に介護業界の情報を展開し、ターゲット層に「入門的研修」に興味を持ってもらうことに繋がります。

情報発信の内容は、ターゲット層と同じ年齢層の方で介護現場で生き生きと働く介護職従事者等へのインタビューや、施設運営者などへの取材を通し、介護の仕事のイメージアップを図る情報・コンテンツを発信します。

同時に、ターゲット層（子育てを終えた層・終える層）が集まるイベント（※親と子の介護職体験の場など）を開催し、情報訴求や調査なども首都圏と関西圏で開催します。

最後に、他のプロジェクト事業者の皆さんの情報を「介護サイト」やグループメディアでの媒体で情報発信する、情報連携も目指していきます。

■企画委員会 有識者による企画委員会を設置し、プロジェクトの方向性や各施策に対する意見を聞きながら進めます

- 牧野篤委員 (東京大学大学院教授・社会教育学)
- 井上由起子委員 (日本社会事業大学教授・福祉経営・介護保険事業)
- 植松巧之委員 (一般社団法人全国介護付きホーム協会 事務局長)
- 高瀬比佐子委員 (未来をつくるkaigoカフェ代表)
- 西上ありさ委員 (studio-L)

本プロジェクトのターゲット層

ターゲット層 = 子育てを終えた層

+

介護業界の方、介護に関心ある層 → X

介護に無関心な層 → O

メインターゲット像

お小遣い女子

年代・性別：30代後半～40代の女性

職歴：就職後出産を機に退職

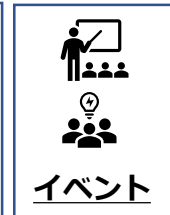
働く動機：子育てに余裕が出て、自分のために使うお小遣いが欲しいと思っているが、家事や子育てなど現在の生活リズムは大きく変えたくない

サブターゲット像

そうじゃない女子

働く動機：芸術系の学校を卒業し、一般職よりも自分の得意なことやスキルを活かしながら働きたい

弊社役割 = 情報発信機能



情報

情報

情報

情報

情報

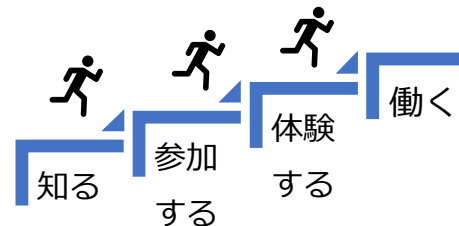
取材

取材

介護現場



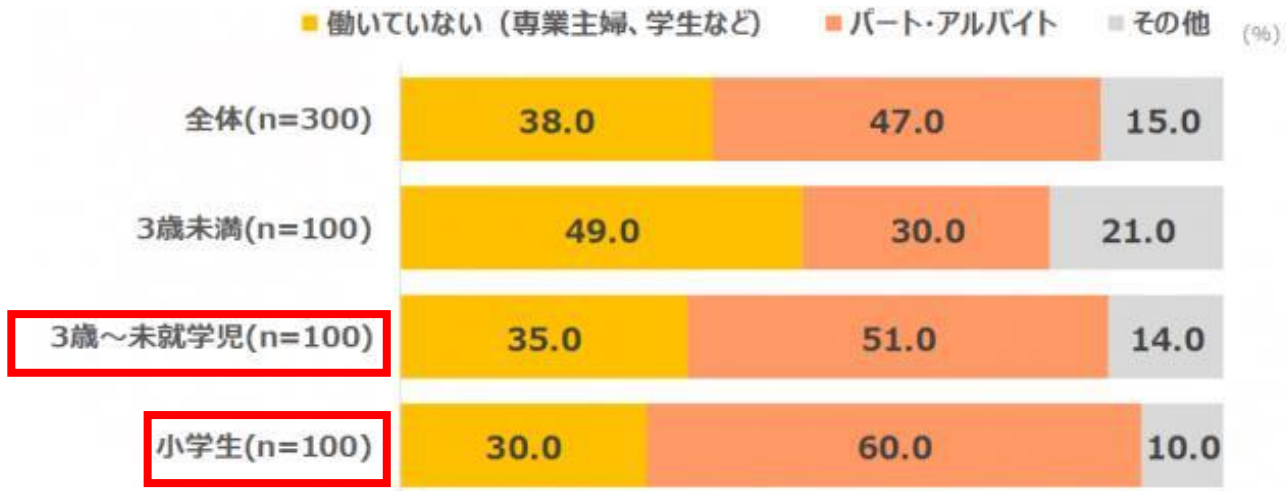
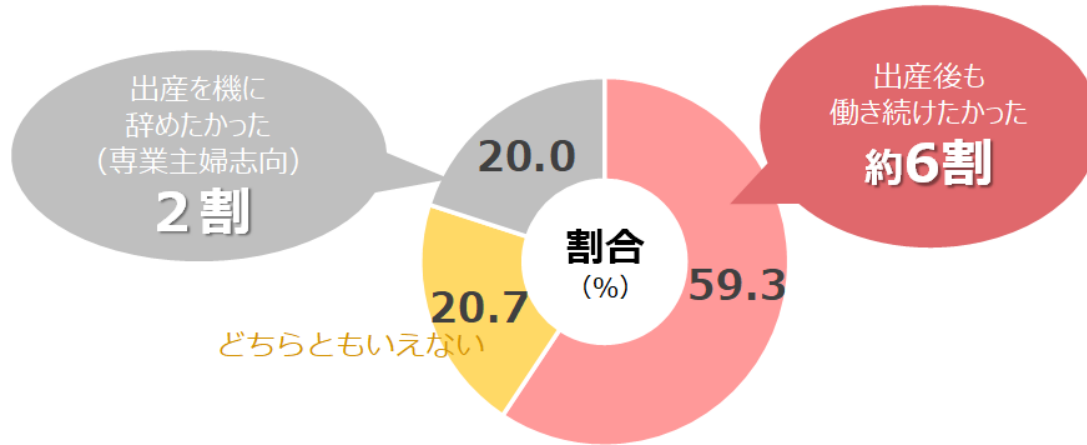
行動に移る



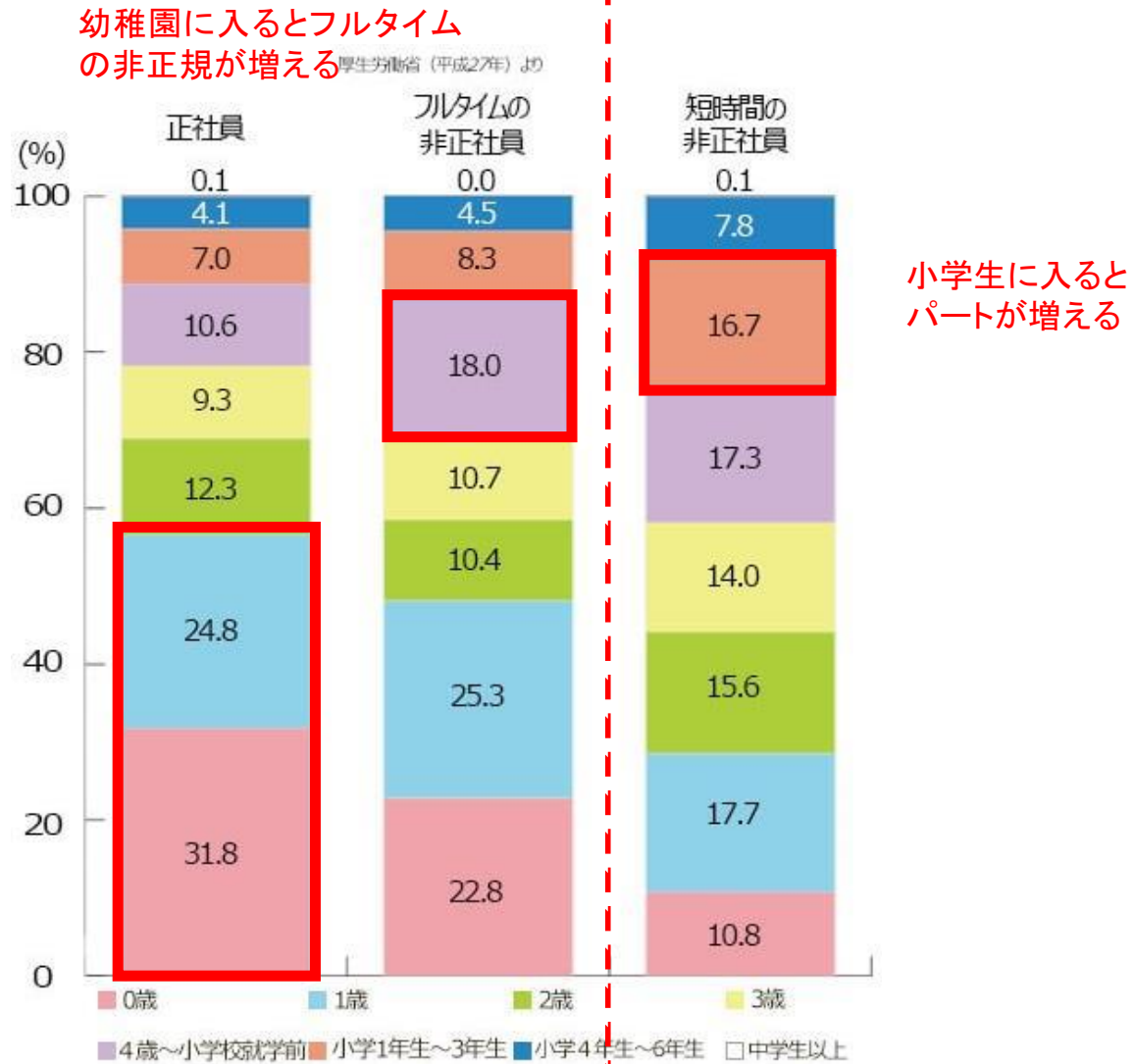
介護体験イベント参加
入門的研修への参加

ターゲットデータ：正社員を辞めて、小学生以下の子供がいる女性の就業状況

ベース：小学生以下の子供がいる正社員を辞めた女性（n=300）

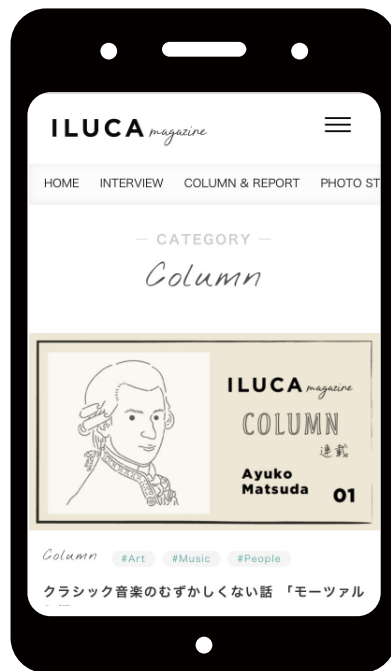
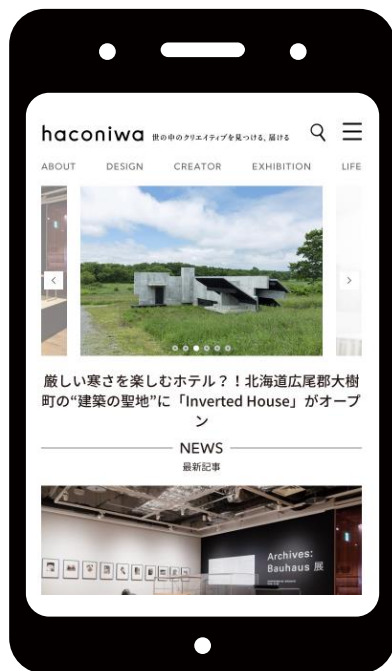


ターゲットデータ：再就職の末子の年齢



・30代後半からのキャリアをどのようにつくっていくか？

ターゲット層がよく接触しているWebメディアから見えること



シンプルで飽きのこないデザイン

新設する介護サイト⇒ ケアするウェブマガジン「～から CARA CARA」

サイト名



介護サイトへの集客方法・サイトコンテンツ案



産経ニュース
産経デジタル各サイトから送客



新設する介護情報サイト

Webサイト



Instagram



ORICON NEWS

- ・オフラインメディア
- テレビ ● 女性雑誌
- イベント



<Webサイトコンテンツ案>

- ・ニュース解説
- ・インタビュー(介護福祉士、事業所)
- ・事業所訪問
- ・コラム
- ・ゆうゆうLifeの過去記事
- ・働きやすい介護事業所
= 認証評価制度と事業所別評価
- ・ネットで介護のお勉強
= 都道府県連携イーラーニング
- ※リンク集
厚生労働省人材確保専門ページ
各事業者団体リンク

■ イーラーニング機能 ■

Webで介護の基本が学べるイーラーニングの仕組みを東京都監修により構築中です



■ 動画コンテンツ

ターゲット層が注目するような人気脚本家による、「介護の仕事」が見える動画コンテンツを制作し配信

■ マンガ

ターゲット層に好まれそうな若手漫画家による介護職のマンガを制作しネット配信



【人に添い、町をつくる一つながりあう地域をつくる】

団塊の世代がすべて75歳以上になる2025年、団塊ジュニアが65歳以上になる2040年に向けて、最も深刻なのが介護職の不足。地域社会をどう支えていくのか。介護は人の生き死にに寄り添い、町をつくる仕事。介護に携わる人、その周辺で暮らしを支える人、挑戦する事業所、地域づくりへの参画などを追う。《主に特設サイトに掲載。紙面とも連動》

1. まちから（地域づくりの試み）

介護事業所やその周辺には、身体介護やオムツ交換でない多様な関わり方があることを伝える。地域食堂での調理、集いの場で話し相手やドライバー、介護の周辺の働き方にフォーカスし、関わる人の動機、発見、やりがいをレポートする。

ex地域食堂で働く、総合事業のボランティア、施設への出張美容師、三重県の介護助手など

2. 人から（介護職に向き合う）

介護職は、残業が少なく、近隣で働くことができ、子ども連れで働けたり、実は働きやすい職場。また、最初は資格がなくても、希望すれば、確実にキャリアラダーを上っていきける。正規職員なら年収は遜色ない。働き方のバリエーション、素人で始めた人の動機を追う。

ex母子家庭の母、介護職になる、徘徊高齢者に心寄せて警察官からの転身、わが家の近くで働く、など

3. しごとから（事業所の挑戦）

働きやすい職場を目指す介護事業者者にフォーカスする。リフト導入で腰痛防止をしたり、母子に住まいと仕事を提供したり、昼夜勤務を分けたり、学会参加を奨励したり。さまざまな事業所を紹介する。都道府県の評価事業も紹介する。

ex夜勤は取り合い、リフト導入で離職率低下、学会参加は公休。招待は旅費も、母子向けペアレンティングホーム

4. せんぱいから（カッコいいジジ、かわいいババ）

現役世代は実は高齢者を知らない。カッコイイおじいちゃん、かわいいおばあちゃんにフォーカスし、高齢期のモデルとしても、この人のために働きたいと思える相手であることを伝える。

exインスタおばあちゃん、jiji工房・ばーばらはうす、どぶろく&田舎料理レストラン、子どもたちに第一線の学問を授ける元大学教授、子ども食堂に携わる認知症デイ

5. こころから

介護には人生の生き死にに寄り添うドラマがある。涙と笑いを体験してもらう。

小説「長いお別れ」、小説「ことことこ〜こ」、句集「アルツハイマー氏」、映画「ペコロスの母に会いに行く」、映画「明日の記憶」、映画「僕がジョンと呼ばれるまで」、映画「アリスのまままで」など。

本プロジェクトのメディアネットワーク群

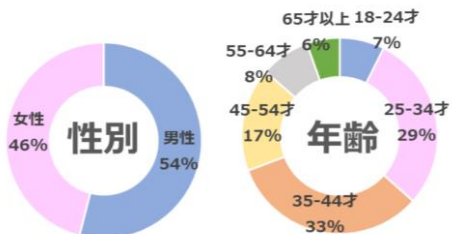


産経新聞全国版
= 全国版:150万部弱



月間PV(PC+SP) = 96,500,000PV
月間UU(PC+SP) = 29,300,000UU

産経ニューススマートフォンユーザー属性



新聞

ニュースサイト

= 広告+記事

介護サイト

SNS

Web媒体

SNS

= 広告



介護のしごとと魅力発信

= 介護の入門的研修

への認知率向上

※参加者増加を目指す



Web動画

= バイラル
しやすい
動画制作配信

BSフジ BSフジ 4K



テレビ(BS)

= タイアップ

女性雑誌

= タイアップ

女性のための地域生活情報誌



首都圏12エリア 1,857,956部
大阪・兵庫9エリア 1,280,929部

自治体広報誌

各自治体の広報誌でのPR

フリー

ペーパー

= ペイドパブ



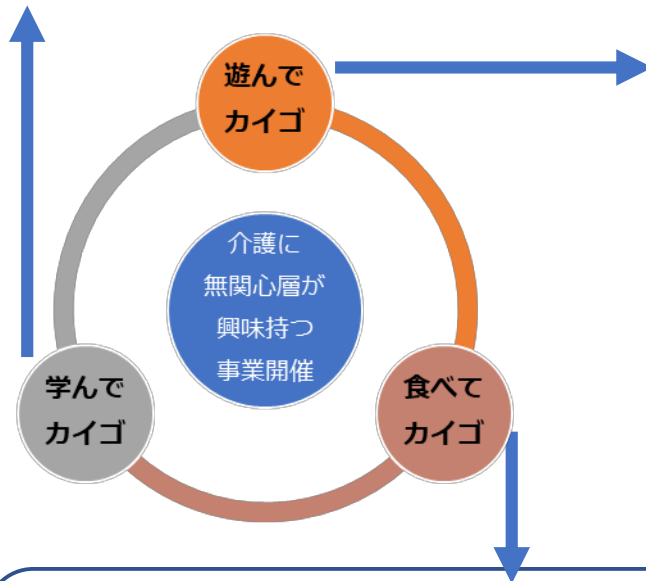
metropolitana ESSE

その他

イベント企画内容案 = 介護の魅力を伝える各種イベント開催

介護施設ツアー(首都圏)バスツアー
介護施設ツアー(関西圏)バスツアー
 ※12月～3月(複数開催予定)

産経新聞や産経ニュース
 各メディアなどで告知し
 介護施設への見学・体験
 ツアーを開催します



親と子供の介護体験 ※もしくは子供イベントでの親への介護職PR

= A : 親と子供が集まる場で「介護の仕事魅力PR」 ※既存イベントで展開

= B : 介護の日『親と子の介護体験DAY』(仮称)開催し介護の仕事PR



■ A = 既存イベントとの連携

親向けの介護のしごとPRの場面を設けます

①東京「親子参加教育イベント」

= 親と子供の向けイベントで、親を集め介護の仕事の魅力をPRします
 ※9月29日(予定)

②大阪「船場まつり」(主催：産経新聞社)にて
 「親と子の介護体験」開催 ※10月4日、5日、6日



■ B = 全国の施設の方と連携しての展開(案)

「介護の日」がある11月に「親と子の介護体験DAY」を開催。各施設で体験会を開催していただきその模様を弊社介護サイトで写真などで紹介
 集まった親たちに介護の仕事の魅力をPRします

※どのように開催するかなどの詳細は今後関係団体様とご相談

介護食！体験&介護職PR

= 食イベント、女性向けイベントと連動し、**介護食×「介護しごとの魅力」**をPRします

11月1日～3日東京「ドリーム夜さ来い祭り(台場)にて介護食+介護の仕事魅力PR

11月14日～17日東京「さかな祭」(日比谷公園)にて介護食+介護のしごと魅力PR

※上記イベントに関しては現在詳細詰めており、別のイベント等に内容変更する場合があります



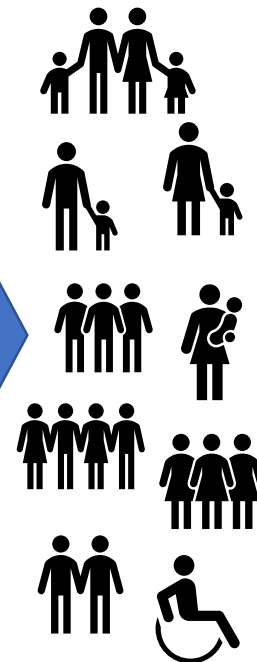
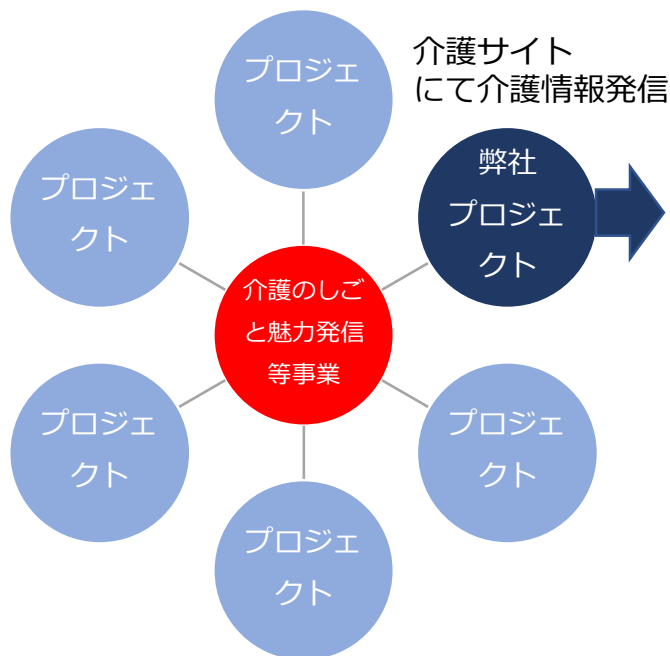
事業者+自治体+本プロジェクト関係者の皆さまへ

弊社のプロジェクトに関連し、皆さまからの情報発信、イベントでの連携、ご提案などありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。また、介護サイト「～から」での情報発信なども検討します。

関係団体の皆さま

公益社団法人全国老人福祉施設協議会、公益社団法人全国老人保健施設協会、公益社団法人日本介護福祉士会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国社会福祉法人経営者協議会、一般社団法人全国介護付きホーム協会、公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

自治体の皆さま



(問い合わせ先)

産経新聞社 新プロジェクト本部 介護プロジェクトチーム 担当)赤崎、桜井、箱山

- ・住所：東京都千代田区大手町1-7-2
- ・電話：03-3243-8511
- ・FAX：03-3243-8377
- ・メールアドレス：caregiving@sankei.co.jp

